臺灣日日新報 （月曜日） 第一万三千二百七十三號 （一）
（所謂紀元二千五百九十二年）（明治卅一年三月九日第三種郵便物認可）（昭和十二年三月八日）
臺灣日日新報社 電話九段參貳貳番 東京神田區神保町 振替東京參七〇番
本日八頁

臺灣日日新報

有斐閣刊行

綠經濟論

上卷 設資 我國產業の中樞に立つ綠經濟の指導は實に農村二百萬戶の死活問題にして同時にそれは我が國民經濟の中心問題である。而して此の方面の研究は今日相當の數を算へ得るが、多くは部分的の研究にして、斯業全般に亙る綜合的研究の缺如と見られる憾みがある。本書は博士が日本農業經濟の權威者の地位に於て、從來の研究を基礎として、堂々上下兩卷に亙る雄大な綜合研究である。今回設資の上卷は農業經濟・農業金融・農業經營の三部より成り、次いで來る四月設資發行の下卷は、生絲の價格・問屋・輸出・取引所・綿價等主として配給方面を取扱ひたるものにして、我國農業經濟の全部門に亙り、國際經濟の變動に應じ發展せる實態の總括に關係せる實際の問題に對し初めて學的に把握せしめつゝあらう。著しく學界は勿論、實務界に貢獻する所多大なるを信ずる。

【內容目次】 序論 第一部 農業經濟の發展 第一章 農業經濟の發展 第二章 農業經濟の特質 第二部 農業經營 第一章 我國の農業經營 第二章 農業經營の合理化と統制問題 第三部 農業金融 第一章 我國農業金融の特質 第二章 農業金融の發達 第四部 農業經營に於ける資本の運動 第一章 農業經營に於ける資本の運動 第二章 農業經營に於ける資本の運動 第三章 農業經營に於ける資本の運動 第四章 農業經營に於ける資本の運動 第五章 農業經營に於ける資本の運動 第六章 農業經營に於ける資本の運動 第七章 農業經營に於ける資本の運動 第八章 農業經營に於ける資本の運動 第九章 農業經營に於ける資本の運動 第十章 農業經營に於ける資本の運動 第十一章 農業經營に於ける資本の運動 第十二章 農業經營に於ける資本の運動 第十三章 農業經營に於ける資本の運動 第十四章 農業經營に於ける資本の運動 第十五章 農業經營に於ける資本の運動 第十六章 農業經營に於ける資本の運動 第十七章 農業經營に於ける資本の運動 第十八章 農業經營に於ける資本の運動 第十九章 農業經營に於ける資本の運動 第二十章 農業經營に於ける資本の運動 第二十一章 農業經營に於ける資本の運動 第二十二章 農業經營に於ける資本の運動 第二十三章 農業經營に於ける資本の運動 第二十四章 農業經營に於ける資本の運動 第二十五章 農業經營に於ける資本の運動 第二十六章 農業經營に於ける資本の運動 第二十七章 農業經營に於ける資本の運動 第二十八章 農業經營に於ける資本の運動 第二十九章 農業經營に於ける資本の運動 第三十章 農業經營に於ける資本の運動 第三十一章 農業經營に於ける資本の運動 第三十二章 農業經營に於ける資本の運動 第三十三章 農業經營に於ける資本の運動 第三十四章 農業經營に於ける資本の運動 第三十五章 農業經營に於ける資本の運動 第三十六章 農業經營に於ける資本の運動 第三十七章 農業經營に於ける資本の運動 第三十八章 農業經營に於ける資本の運動 第三十九章 農業經營に於ける資本の運動 第四十章 農業經營に於ける資本の運動 第四十一章 農業經營に於ける資本の運動 第四十二章 農業經營に於ける資本の運動 第四十三章 農業經營に於ける資本の運動 第四十四章 農業經營に於ける資本の運動 第四十五章 農業經營に於ける資本の運動 第四十六章 農業經營に於ける資本の運動 第四十七章 農業經營に於ける資本の運動 第四十八章 農業經營に於ける資本の運動 第四十九章 農業經營に於ける資本の運動 第五十章 農業經營に於ける資本の運動 第五十一章 農業經營に於ける資本の運動 第五十二章 農業經營に於ける資本の運動 第五十三章 農業經營に於ける資本の運動 第五十四章 農業經營に於ける資本の運動 第五十五章 農業經營に於ける資本の運動 第五十六章 農業經營に於ける資本の運動 第五十七章 農業經營に於ける資本の運動 第五十八章 農業經營に於ける資本の運動 第五十九章 農業經營に於ける資本の運動 第六十章 農業經營に於ける資本の運動 第六十一章 農業經營に於ける資本の運動 第六十二章 農業經營に於ける資本の運動 第六十三章 農業經營に於ける資本の運動 第六十四章 農業經營に於ける資本の運動 第六十五章 農業經營に於ける資本の運動 第六十六章 農業經營に於ける資本の運動 第六十七章 農業經營に於ける資本の運動 第六十八章 農業經營に於ける資本の運動 第六十九章 農業經營に於ける資本の運動 第七十章 農業經營に於ける資本の運動 第七十一章 農業經營に於ける資本の運動 第七十二章 農業經營に於ける資本の運動 第七十三章 農業經營に於ける資本の運動 第七十四章 農業經營に於ける資本の運動 第七十五章 農業經營に於ける資本の運動 第七十六章 農業經營に於ける資本の運動 第七十七章 農業經營に於ける資本の運動 第七十八章 農業經營に於ける資本の運動 第七十九章 農業經營に於ける資本の運動 第八十章 農業經營に於ける資本の運動 第八十一章 農業經營に於ける資本の運動 第八十二章 農業經營に於ける資本の運動 第八十三章 農業經營に於ける資本の運動 第八十四章 農業經營に於ける資本の運動 第八十五章 農業經營に於ける資本の運動 第八十六章 農業經營に於ける資本の運動 第八十七章 農業經營に於ける資本の運動 第八十八章 農業經營に於ける資本の運動 第八十九章 農業經營に於ける資本の運動 第九十章 農業經營に於ける資本の運動 第九十一章 農業經營に於ける資本の運動 第九十二章 農業經營に於ける資本の運動 第九十三章 農業經營に於ける資本の運動 第九十四章 農業經營に於ける資本の運動 第九十五章 農業經營に於ける資本の運動 第九十六章 農業經營に於ける資本の運動 第九十七章 農業經營に於ける資本の運動 第九十八章 農業經營に於ける資本の運動 第九十九章 農業經營に於ける資本の運動 第一百章 農業經營に於ける資本の運動

京大教授・經濟學博士 本位田祥男著 農産物の價格統制 菊判布張 三五〇頁 稅四五〇

貿易統制の研究

第二卷 世界は今や新たなる經濟革の時代に突進し、貿易統制は、世界各國の對外經濟政策の基調となりつゝある。此の間に處して我國の經濟的發展を圖るためには、何としても貿易の統制的擴興といふ問題は、我國の國際貿易情勢は愈々進展して已まず、從つて此の問題の重要性は益々加重されつゝある。著者は茲に其後の研究を纏めて第二卷を公にせらる。即ち第一篇は貿易統制の根本的理論の研究を收め、第二篇は我國の貿易統制の發展過程を、カナダ・豪洲への進出關係を中心として論述し、第三篇は我國の貿易統制の現段階を、第四篇は貿易統制と國防問題、貿易統制と國民經濟、貿易統制の中樞機關、貿易統制の構成、貿易統制の發展、ナチス治下の獨逸、米國、その他の諸國に於ける貿易統制の發展、日滿貿易の調整、日・滿・支經濟ブロックの二篇を附錄として、我が國に於ける貿易統制の發展に關する一切を網羅せる。

【內容目次】 序論 第一篇 總論 第一章 貿易統制の意義 第二章 貿易統制の發展 第三章 貿易統制の構成 第四章 貿易統制の發展 第二篇 各國の貿易統制 第一章 英國 第二章 獨逸 第三章 伊太利 第四章 佛蘭西 第五章 ベルギー 第六章 和蘭 第七章 瑞典 第八章 瑞西 第九章 丁抹 第十章 諾威 第十一章 芬蘭 第十二章 波蘭 第十三章 ハンガリー 第十四章 ルーマニア 第十五章 ユーゴスラビア 第十六章 ブルガリア 第十七章 ギリシア 第十八章 トルコ 第十九章 エジプト 第二十章 ソビエット聯邦 第二十一章 ドミニカン共和國 第二十二章 ハイチ 第二十三章 キューバ 第二十四章 メキシコ 第二十五章 ブラジル 第二十六章 ウルグアイ 第二十七章 アルゼンチン 第二十八章 チリー 第二十九章 ペルー 第三十章 ボリビア 第三十一章 パラグアイ 第三十二章 エクアドル 第三十三章 コロンビア 第三十四章 ベネズエラ 第三十五章 パナマ 第三十六章 コスタリカ 第三十七章 ニカラグア 第三十八章 ホンデュラス 第三十九章 エルサルバドル 第四十章 グアテマラ 第四十一章 メキシコ 第四十二章 キューバ 第四十三章 ハイチ 第四十四章 ドミニカン共和國 第四十五章 ブラジル 第四十六章 ウルグアイ 第四十七章 アルゼンチン 第四十八章 チリー 第四十九章 ペルー 第五十章 ボリビア 第五十一章 パラグアイ 第五十二章 エクアドル 第五十三章 コロンビア 第五十四章 ベネズエラ 第五十五章 パナマ 第五十六章 コスタリカ 第五十七章 ニカラグア 第五十八章 ホンデュラス 第五十九章 エルサルバドル 第六十章 グアテマラ 第六十一章 メキシコ 第六十二章 キューバ 第六十三章 ハイチ 第六十四章 ドミニカン共和國 第六十五章 ブラジル 第六十六章 ウルグアイ 第六十七章 アルゼンチン 第六十八章 チリー 第六十九章 ペルー 第七十章 ボリビア 第七十一章 パラグアイ 第七十二章 エクアドル 第七十三章 コロンビア 第七十四章 ベネズエラ 第七十五章 パナマ 第七十六章 コスタリカ 第七十七章 ニカラグア 第七十八章 ホンデュラス 第七十九章 エルサルバドル 第八十章 グアテマラ 第八十一章 メキシコ 第八十二章 キューバ 第八十三章 ハイチ 第八十四章 ドミニカン共和國 第八十五章 ブラジル 第八十六章 ウルグアイ 第八十七章 アルゼンチン 第八十八章 チリー 第八十九章 ペルー 第九十章 ボリビア 第九十一章 パラグアイ 第九十二章 エクアドル 第九十三章 コロンビア 第九十四章 ベネズエラ 第九十五章 パナマ 第九十六章 コスタリカ 第九十七章 ニカラグア 第九十八章 ホンデュラス 第九十九章 エルサルバドル 第一百章 グアテマラ

谷口吉彥著 貿易統制の研究 菊判布張 三四七頁 稅四七〇

計畫經濟

―世界經濟の現段階―

經濟學博士 目崎憲司著 菊判總クロース上製 紙數四〇六頁 定價並二圓 資料四十七錢 新刊

經濟生活概說

京都帝大助教授 堀江保藏著 菊判總クロース上製 紙數三八〇頁 定價二圓二十錢 資料四十七錢 新刊

同文館

東京神田駿河臺下 振替東京一二三五番 電話神田二一七番

吉田良三著 改訂增補 近世簿記精義 菊判布入 其ノ一 商學博士 其ノ二 商學博士 價五・一〇 送二二

吉田良三著 商業簿記提要 菊判布張 商學博士 價二・五〇 送一四

吉田良三著 工業簿記提要 菊判布張 商學博士 價二・五〇 送一四

吉田良三著 工業簿記と原價計算 菊判布張 商學博士 價二・五〇 送一四

向井梅次著 商品學概說 菊判布張 高岡高商教授 價二・八〇 送二三

佐藤弘著 倉庫論 菊判布張 東京商大 價二・〇〇 送一〇

長谷川安兵衛著 我企業豫算制度の實證的研究 菊判布張 早大商學博士 價二・七〇 送一四

吉田良三著 簿記提要 菊判布張 價二・〇〇 送一〇

目崎憲司著 鐵鋼及石炭業に於ける企業組織 菊判布張 京都帝大助教授 價二・八〇 送一四

本庄榮治郎著 經濟史概論 菊判布張 價二・〇〇 送一〇

松好貞夫著 新田の研究 菊判布張 價二・〇〇 送一〇

三訂 銀行簿記提要

最新刊 吉田良三著 菊判三〇〇頁入 價二圓送十錢

新刊 芳賀矢一文集

內容 論文・隨筆・演詩・和歌・俳句・唱歌・日記・書翰

芳賀矢一博士は、國文學の研究に歐洲文藝學の方法を採入れて、新たなる日本學を建設せられた偉大な國學者であつた。荷田春滿によつて起され賀茂眞淵、本居宣長、平田篤胤等によつて繼承され來つた「國學」は、芳賀博士の手によつて始めてその光輝ある本質を完全に闡明され得たといふも過言ではあるまい。現代における國文學界の巨擘は、一に芳賀博士の斯學開拓の賜物に外ならないのであつて、芳賀博士こそ、新しき國學の父であり、永久に國文學界の光と仰がるべき人である。しかも、博士は學者にしてエッセイストであり、更に作家を兼ねて居られた。その平明暢達の文は、高潔なる人格、高邁なる識見、洋の東西にわたる學識に裏照されて、獨得の精彩と高き氣品とを、讀む者の胸に迫る力とを具へてゐる。特に國家的自覺の溢洋として起り、日本精神のいよ〳〵高調されつゝある現代にあつて、熱烈なる國家愛の精神を基調とせられた博士の論說は、最も深き感銘をもたらし、その感化の及ぶところ甚し量り知るべからざるものがあることを信じて疑はない。

博士逝いて既に十年、本社は特に博士の嗣子芳賀檀氏に囑して博士の文集を編み、こゝに刊行して一般讀書界の待望に應へんとするものである。

◇石井柏亭著 畫伯傳記・口繪十二葉——菱判內・三三頁・六一

新刊 ニユース

谷口吉彥著 新刊 菊判總クロース上製 紙數六四頁 定價三圓八十錢 資料四十七錢

貿易統制

―世界經濟の現段階―

經濟學博士 目崎憲司著 新刊 菊判總クロース上製 紙數四〇六頁 定價並二圓 資料四十七錢

經濟生活概說

京都帝大助教授 堀江保藏著 新刊 菊判總クロース上製 紙數三八〇頁 定價二圓二十錢 資料四十七錢

東洋第一人の小說隨筆を讀め!!

名家の絕讚

▲ロンドン・タイムス評——魯迅は支那のチエホフであり、支那文化の鏡だ。

▲ロマン・ロランは彼の主宰する「歐羅巴」誌上で魯迅は東洋の第一人と激賞し、そして阿Q正傳を讀んだとき「阿Qの運命が氣になつて一日も二日も眠れなかつた」と言つた。

▲リピエットでは「支那のゴーリキイ」と云つてをり、小說「阿Q正傳」の飜譯はソビエットで一番に十數部を賣りつくした。

▲東慶齡女士は曰く——魯迅先生は卓絕的天才と壓濱なる人格と堅韌なる意志を以て現代民族を人類の光明に向つて走らしめんとする偉大なる民族的戰士である。

▲新居格氏曰く——現代支那が世界的作家として最初にその名を記錄したのは實に魯迅である。その意味で魯迅は「世界的文豪」である。

▲藤森成吉氏曰く——大作家的風格が有り、一人よく近代支那の文壇をして世界に寄からしむ、杜甫といはなくてはならぬ。

其他批便多數あり 振北電三八五〇

改造社

東京市京橋區新富町七丁目二〇番地 振替東京一六四八番

讀めば讀むほど滋味の出るのは魯迅の小說だ

魯迅全集

彼の小說、隨筆、感想を讀まないでは支那を語れぬ

第二回配本開始（目下配本中）

第一卷 小說集

（內容）吶喊（序、狂人日記、孔乙己、藥、明日、故鄉、阿Q正傳、端午節、白光、兎と猫、家鴿の悲劇、村芝居）

彷徨（祝福、酒樓上にて、幸福な家庭、石鹼、官俸一次、示衆、高老夫、孤獨者、傷逝、兄弟、離婚）

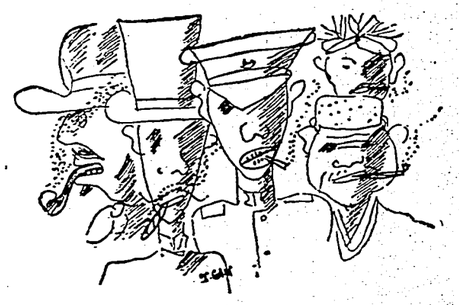
他二篇 私の圖書、阿金

內容見本進呈 全七卷・菊判上製・豫約募集 四六判上製・裝幀堅牢 每月一卷金二圓（一冊包） 送本料東京市內無留 申込金不要

改正臺北市全圖（定價一圓）

發行所 臺灣日日新報社商事課

のみのコバタ カモス腐蝕



彼れなんか 留守にもかけぬ！と云ふ よく事情を聽いて見ると 莫はのむがスモカは使はぬのらしい。

858 腐蝕化粧品 藥店ニアリ 定價十五錢

大阪商船 臺灣出航

◎基隆出航（△印寄港）
門司行（直航）乘丸 三月八日後四時半發
神戸行（高千穗丸 三月九日後四時半發
◎高雄出航
馬公行（四山丸 三月十日後四時半發
厦門・汕頭行（厦東丸 三月十日後四時半發
福州・馬尾行（大球丸 三月十一日後四時半發
上海行（盛京丸 三月十二日後四時半發
天津・大連行（長沙丸 三月十四日午前九時發
神戸行（高千穗丸 三月十五日後四時半發
門司行（乘丸 三月十六日後四時半發
大阪行（乘丸 三月十七日後四時半發
名古屋行（乘丸 三月十八日後四時半發
東京直行（乘丸 三月二十日午前十時發
大連・仁川行（大連丸 三月十日午前十時發
沖繩行（那覇丸 三月十一日後四時半發
高雄・基隆行（高雄丸 三月十二日後四時半發
◎基隆入港
門司行（乘丸 三月十日後四時半發
神戸行（高千穗丸 三月十一日後四時半發
大阪行（乘丸 三月十二日後四時半發
名古屋行（乘丸 三月十三日後四時半發
東京直行（乘丸 三月十四日午前九時發
大連・仁川行（大連丸 三月十日後五時發
沖繩行（那覇丸 三月十一日後五時發
高雄・基隆行（高雄丸 三月十二日後五時發
◎高雄入港
厦門・汕頭行（厦東丸 三月十日後五時發
福州・馬尾行（大球丸 三月十一日後五時發
上海行（盛京丸 三月十二日後五時發
天津・大連行（長沙丸 三月十四日午前九時發
神戸行（高千穗丸 三月十五日午前十時發
門司行（乘丸 三月十六日後四時半發
大阪行（乘丸 三月十七日後四時半發
名古屋行（乘丸 三月十八日後四時半發
東京直行（乘丸 三月二十日午前十時發
大連・仁川行（大連丸 三月十日後五時發
沖繩行（那覇丸 三月十一日後五時發
高雄・基隆行（高雄丸 三月十二日後五時發
其他船便多數あり 基北電三八五〇

近海郵船 臺隆出航

大阪行 門司神戸行 三月十日後四時半發
吉野丸 三月十日後四時半發
朝日丸 三月十九日後四時半發
箱根丸 三月廿四日午前九時發
岩手丸 三月二十日午前十時
香港・歐洲行 三月十日後四時半發
春取丸 三月十日後四時半發
丸一組 臺隆 基北電三八五〇

辰馬汽船出帆

神戸行 大阪行 三月七日高雄發
天長丸 三月八日基隆發
桐葉丸 三月十日高雄發
桃葉丸 三月十日基隆發

大連汽船出帆

大連直行 三月八日後五時發
山東丸 三月九日後四時半發
高雄・基隆 三月十日後五時發
電話基北四七二九番

星名劑

星一と御指定の印別附

酒の過多 兒童の腦病 ミツワ制酸錠

酒の過飲・宿醉・二日酔・胸やけ・胃酸過多症・胃痛・嘔吐・下痢・食傷・食欲不振・小兒の腦病等には ミツワ制酸錠（ミツワせいさんじょう） 一〇セン・三〇セン

早稻田大學の講義錄

早稻田大學長 田中穗積

中等學校程度

中學講義 修業年限 前後期各一年 學費 月一圓

商業講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓

高等女學講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓

電氣工學豫備講義 修業年限 一ケ年 學費 月一圓

專門學校程度

政治經濟講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓二十錢

法律講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓二十錢

文學講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓二十錢

建築講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓三十錢

電氣工學講義 修業年限 一ケ年半 學費 月一圓三十錢

（詳細は內容見本によつて知られよ）

右の讀者は總て本大學の校外生とす。

內容見本の希望者は望みの講義錄を書いて今直ぐ左記に申込まれよ。

申込所 東京牛込 早稻田大學出版部 振替東京一二三三・電話牛込三四五

舞臺は一轉

貴院は波瀾なく豫算通過せん

残るは重要法案の審議促進

會期延長不可避か

【東京七日發】今期議會を通じての最大中心問題たる明年度總豫算も八日愈々衆議院の手を離れ貴族院に移附、衆議院を通過、貴族院に移されて、議會の中心は衆議院より貴族院に移るが貴族院では既に衆議會の正副議長の年齢を終へ、議會の閉會を待つばかりとなつて居る、而して貴族院は既内閣に比較的好感を寄せてゐるから豫算に對しても衆議院に於けるが如き波瀾なく無修正で通過せしむる事は確實であり總豫算は從つて茲に衆議院に於ける豫算審議は殆んど終了したと見られてゐる

殘るは重要法案の審議促進

【東京七日發】今期議會に於いて殘された問題は重要法案の審議促進であるが政府は既に七十二號に上る多數法案を議會に提出して置いたのであるが貴族院では既に衆議會の正副議長の年齢を終へ、議會の閉會を待つばかりとなつて居る、而して貴族院は既内閣に比較的好感を寄せてゐるから豫算に對しても衆議院に於けるが如き波瀾なく無修正で通過せしむる事は確實であり總豫算は從つて茲に衆議院に於ける豫算審議は殆んど終了したと見られてゐる

會期延長不可避か

【東京七日發】今期議會に於いて殘された問題は重要法案の審議促進であるが政府は既に七十二號に上る多數法案を議會に提出して置いたのであるが貴族院では既に衆議會の正副議長の年齢を終へ、議會の閉會を待つばかりとなつて居る、而して貴族院は既内閣に比較的好感を寄せてゐるから豫算に對しても衆議院に於けるが如き波瀾なく無修正で通過せしむる事は確實であり總豫算は從つて茲に衆議院に於ける豫算審議は殆んど終了したと見られてゐる

文相は近く專任

鐵、拓兩相は未定

一安堵の首相政局談

【東京七日發】昭和十二年度豫算案も六日の衆議院豫算總會に於いて滯りなく議了され八日の本會議で無事衆議院を通過貴族院に移されることとなつたのでここに懸案中の懸案の一豫算の解決が目途が立つたので内閣の一安堵の氣持は六日夜官邸で今後の政局に關し左の如く語つた

專任文相問題　文相は近かに專任文相を見るだらう

鐵道、拓務兩相專任問題　これは行政機構改革の問題と關聯があるので未だ確とも言へないが内閣の一部專任の問題が出てゐるが内閣の一部專任の問題が出てゐるが内閣の一部專任の問題が出てゐる

ケ ベ オ

ハレコ　タシマセサリクツヒ　ランサコナハ　ハンサーロタ
アガノモイワコ　トツモリヨレコ　ラカレソ　？ウセデンナ
ニマサアカオ　カマサウトオ　バレケナラカワ　スマリ
イサナンラゴ　テネツタ

編ウコ・ラムノ

百貨店資本の進出

遂に全國都市に及ぶ

中小商業者への重壓益々加る

百貨店法は議會提出

百貨店の發展が顯著になつたのは昭和八年以降で、昭和八年當時は七千五百餘以上の大百貨店は五店であつたが、現在では十三店に殖えた地方都市は最近に於て機關の度を高め、昭和十一年には地方都市にも五千餘以上の百貨店が出現した、昨年度は組合員外百貨店の地方開業が目立つた年で、靜岡市の岩田屋を初め小倉市の井筒屋、鹿兒島市の高島屋、大分市のトキワ、津市の大門等その數だけでも二万三千餘坪に達してゐる

次に本邦百貨店の現勢を觀るに昭和十一年末現在に於て百貨店商業組合員店の營業總坪數は二四四、七七二坪であるがこれを所在地域別でいへば六大都市一九五、一六〇坪七割九分七厘）地方都市四三、九三八坪（一割七分九厘）十萬ストア等五、六七四坪二分二厘）で六大都市の內訳は東京が第四で二五萬餘八六、一五三坪（三割五分二厘）第二位が大阪市の一六萬餘四、六〇二、二六六坪（二割四分六厘）それに次ぐのが京都市八店舖二、七〇九坪六分八厘）名古屋市四店舖二、七九五坪四分八厘）福岡市四店舖二、七九五坪四分八厘）神戸市三店舖二、四三四坪三分一厘の順である

なほ非組合員店を含めた全市百貨店の都市別分布をみると、十万以上の都會で百貨店の存在してゐないのは呉、新潟、大垣田高知、濱松の五都市であるが、そのうち新潟及び濱松はそれぞれ百貨店計畫があり、堺は大阪の外郭といふ關係にあるから純粹に百貨店のないのは大牟田と高知のみとなり、六大都市を除いた人口十万以上の都市に於ける百貨店の現狀をみると次の如くである

△廣島（店舖數一、延坪數一、二二六〇△福岡（四店二、七三〇坪）△長崎（一店四九〇坪）△仙臺（二店二、二一八坪）△八幡（一店八八〇坪）△長崎（一店八九〇坪）△函館（二店三、三五一坪）△札幌（二店五、二四一坪）△旭川（一店四、三五四坪）△鹿兒島（二店六四九坪）△和歌山（二店一、三〇〇坪）△金澤（二店二、八三七坪）△岡山（二店五、二八七坪）△川崎（一店四、八〇〇坪）△小樽（二店二、四二〇坪）△下關（一店六、九〇坪）△岐阜（一店六、〇三三坪）△四日市（一店四、〇五〇坪）△小倉（二店二、三三五坪）

次に人口十万以下の都市に於ける百貨店分布狀況を觀ると次の如くである

△德島（店舖數一、延坪數一、三五九坪）△高松（一店一、九一七坪）△佐世保（一店一、四〇〇坪）△宇部（一店一、四〇〇坪）△八王子（一店一、四〇〇坪）△甲府（一店一、三〇〇坪）△大牟田（一店一、二〇〇坪）△高知（一店一、〇〇〇坪）

なほ昭和十一年の推計人口を基礎とし人口十万餘りの都市數を算出してみると六大都市では大阪が二、一五九坪で第一位を占め、京都が第二位、七五三坪、東京は一、四四六坪で第三位となり、これに次いで神戸一、二五七坪、橫濱一、〇四四坪の順である、なほ同じく十万人餘り都市の基準からみて百貨店の設置してゐる地方都市は廣岡（四、二五七・七坪）鹿兒島（二、五四〇坪）岡山（二、〇六九坪）小倉（二、九一七坪）札幌（二、五五七坪）大分（二、五八〇坪）金澤（二、一九二坪）である

花蓮港廳下の 薄荷試作

餘り芳しくない

當局は原因發見に躍起

【花蓮港特電】花蓮港廳當局では昭和九年から六ヶ年計畫で澁柿の公共の五ヶ所において三分つの耕作を行つて成績を擧げてゐるが、從來の實績による內地殖り年收入百四万九十二圓と云ふことになり、既に十年目に當るも收穫なしと傳ふに際會の調査として現る有樣されてゐるのに、所かる現狀に反した結果となつてゐるので關係當局に於てはその根本的原因の發見に努むべく醵金となつてゐる

除蟲菊の 成分收量

我が國產除蟲菊は、世界總產額の九割を占め、實に除蟲菊出關產物の一つであり、北海道が主產地であるが、同地方產の除蟲菊の有效成分たるピレトリン含有量は、平均〇・六%に過ぎなく、我國產除蟲菊の平均量〇・九七%に比して顯著に劣つてゐる、處でやゝ實驗的に栽培されてゐる除蟲菊品位の檢定は、實驗室上り檢定よりピレトリン含有量により檢定せられんとする傾勢であるに鑑み、北海道廳立農事試驗場に於ては、除蟲菊の有效成分たるピレトリン含有量が、驚くべきことには、內地產除蟲菊の平均量〇・九七%に比しても同程度に顯著である

乙女まさ嬢お立巣を窓学

美しいお化粧には先づ地肌を整へませう

第一に

春先は脂肪の分泌が多いので、特に美容の重大な基礎である洗顔を完全にしなければなりません。それには毛穴の深部の汚れまで清掃するウテナクレンジングかクリームのやうに無刺戟でお肌を美しく整へるマンテン石鹸がなによりです……

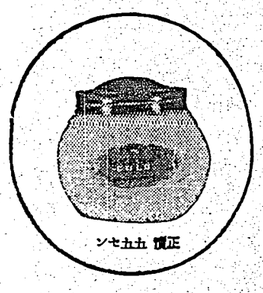
第二に

夜分お休みになる前、純良脂肪性のウテナコールドでお忘れなくマッサージなさることです。皮下脂肪は適度に調節されるので、ニキビ吹出物は完全に防げ、學生時代とはまるで生れ變つたやうに垢ヌケて來ます。そしてお化粧が美しく出來る艶々しいお肌になります。

第三に

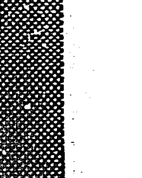
ウテナクレンジングかマンテン石鹸で洗顔したあとは必ず、ウテナ化粧水か、ウテナバニシングをつけてお肌を收斂し、皺や黴菌の侵入を防いで美肌を保つことにお心掛け下さい。また美しい粉化粧をなさるにはウテナバニシングを下地にお用ひになると、どなたも造作なく魅惑的なお化粧が出來ます。

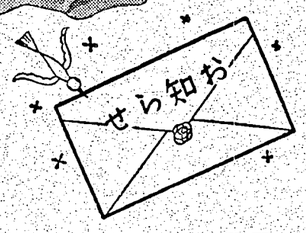
整肌・白粉下に



桑葉に

洗顔白粉落しに





「美容相談部」新設

この度皆様のために美容相談部を新設しました。お化粧一般はマヤ・片岡先生。皮膚衛生方面は、慈恵大學皮膚科の藤田稔博士が親切丁寧に御指導下さいます……

質問狀はウテナ化粧品能書の末尾にありますので參つて御質問下さいませ……

近代的て青春美を百%生かした

クリームと紅のお化粧

春の魅力は明い素肌美です。學校を出たばかりのお嬢さん方に是非お勸めしたいのは素肌の若さを百パーセント生かした最も近代的なクリームと紅だけのお化粧です。粉は全然使はないで、洗顔後ウテナバニシングか、ウテナレモンをよく擦込み、ウテナ口紅を唇の形にはつきりつけ、ウテナほゝ紅を長顔の顔は横に、圓顔の方はその反對に、ぼかしますと、青春美溢れるとても魅惑的なお化粧が出來ます。

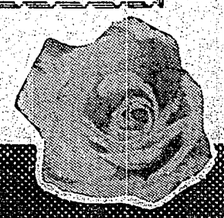
春先にも崩れぬ

魅惑的な粉の薄化粧

美しい粉の薄化粧もとても魅惑的です。ウテナバニシングを下地にして、お肌の美しさを充分生かして輕く粉をはたき込み、ウテナの紅で仕上げます。ウテナバニシングは餘分の脂肪を消す作用がある上、ウテナ粉白粉は粒子に特別の工夫があるので初めてお化粧をなさるお嬢さん方にも思ひ通りに美しくついてとても永保ちします。

ウテナ粉白粉

肌色　ナチユレル
濃肌色　白色
健康色　オークル 一號
ブルン　オークル 二號



12.3—金.4

ムーリクバニシングウテナ

(印雪)

ウテナ化粧品
エーデン石鹸
大本舗
久保政吉商店

臺灣自聯の盟主 楊肇嘉氏引退を聲明

要因は中、南派の對立内訌と 運動資金の不如意から

【台北電話】台湾自治制の改正後における自治聯盟の動向に就ては一般注目の的となつてゐた折柄同聯盟は昨年来より二派對立し自聯の総本山たる台中側の楊肇嘉氏一派は右改正が同聯盟の主張する自治制度と餘相遠の感ありとしても現下の客観的情勢から見て聲明が万般を擧げて眞の自治制度の理想へ一歩を進めた點を充分汲み取り聯盟すべきを主張し、一方台南派は飽かる畸形的制度に満足出来ず速やかに改正を期すべしといふより立ち、自聯内の主流は遂に一致を見ず結局自聯は解消的に強固な機動力なく過ぎ去る盛大の聯主楊肇嘉氏を總裁とする所あつて二、三日前内紛勃発に関連を招き非公式に引退の意を漏らしたので昭和五年以来實に多くの波瀾と曲折を経て来た同聯盟も今や解消の至と見られるに至つた同聯盟が今日あり得たのも楊氏の努力に負ふ所多く同氏なき後の自聯は全く有名無実と化すことは同聯盟の内情を知る者の均しく認める所で此際形式的に同聯盟を存続するとしても実質的には政治的活動を中断されるものと見られ自聯本部を新竹に置き楊肇嘉氏は臨時に自治聯盟内の内紛ではない唯自分一身上に就ては清水街に轉居するとか東京又は満洲国に雄飛するとかデマが飛りに飛んでゐるやうだが自分は現有デマに乗じて実現することが多い、清水に籠るのは自聯の後始末を附けた後暫くでも最因までには引退げるかもしれぬ聯盟の看板もそれまでに処置したいが市内に掛ける所がなければ台北清水の自宅にでも掛けておく心境だ、聖するに自分の心境は現今の自治制は我々臺民の試練の機關であつて新自治制実施後間もない今日慌れ此れ容喙すべき筋合でないと思ふ、時は非常時であり帝国一致国の為めに奉公せねばならぬ昨今、台湾自治制改革に就て騒ぐ時ではない又出がよすぎる、多少畸形的制度とは云ふものの運用よろしきを得たらば必然的に我々の主張が容れられると思ふ所詮臺民が時勢を認識するの明がなければ私自身一個本島人の政治的運動はまだ幼稚である、内地の如き一個のサラリーマンが政治運動に自宅にでも掛けておく心境だ、聖するに自分の心境は現今の自治制は我々臺民の試練の機關であつて新自治制実施後間もない今日慌れ此れ容喙すべき筋合でないと思ふ、時は非常時であり帝国一致国の為めに奉公せねばならぬ昨今、台湾自治制改革に就て騒ぐ時ではない又出がよすぎる、多少畸形的制度とは云ふものの運用よろしきを得たらば必然的に我々の主張が容れられると思ふ所詮臺民が時勢を認識するの明がなければ私自身一個本島人の政治的運動はまだ幼稚である、内地の如き一個のサラリーマンが政治運動に

組出してゐる例が少くないその背後には必ず有産階級が動員的な援助をしてゐるので何も不自由ないが台湾は総べて無産階級で此際大衆の為めには闘ふを辞たず執も消極的である自分は過去を顧みて大いに自覚する所が多かつた、何んと云つても盛た昭和五年頃東京滞在中の時林献堂氏の同聞の人々に慫慂されて帰台自治運動に身を投じて以来八年間多少同志の犠牲はあるとも云ふものの それも最高一、二千円程度で政治運動と云ふのは人の気遣ひ所に金がかゝりつゞまでいちく自腹を肥つて国聞を辛じてやつて存続し得たのであるが今では自分現在の政人と言へば運動資金として借り射子を支拂ふにしか聞に合はずこの際思切つて田地を賣拂ひ返済すべく整理中である之から金儲でもして元に復旧せねば祖先に對して済まない何か金儲の方法が出来ればマア将来新る運動にも自分の如き者でも必要ならば再び出でて奮闘を惜まない云爲になつても台湾の為めに奉公したいと思ふ（談話は掲載禁止）

教子の眞心に成る "壽像"の除幕式

きのふ盛大に擧げらる

【葛亭電話】教育者として功成り名遂げて今は民選市會議員として隊生を終る山師への教子等の眞心より出来上つた銅像の除幕式が昨日朝嘉義市東門公学校で明かれた 注ぐ朝日に子弟の心と心はこまやかな情愛に満ちくてゐた、旧師は明和九年後進に後を譲つて重遷した元嘉義第二公学校長屋敷駅氏

教子等は屋氏が嘉義庁時代の明治四十一年から明和九年まで二十七年間手塩にかけた子供等で今は何れも社會の中堅として活躍してゐる人々ばかりで此等は今は何れも社會の中堅として活躍してゐる人々ばかりで此等は今は何れも社會の中堅として活躍してゐる人々ばかりで此等は

花に濃淡あり

(133) (第十四回)

片岡鐵兵作

一木彦畫

寒近けれど(G)

「ざういふ訳でございますの。晶枝の申上通りを申し上げましたのですが、実は、わたしにもよくは分らないのでございますと」

大場家の應接間だった。

夫さまにお目に掛りたい、さう断つてお妙はここに通され、夫人に晶枝の云つた通り靡子の倶持ちを傳へたのだつた。

「まア〳〵、ほんとに近頃の若い娘たちのすることは……」

と靡子夫人はあきれたやうに云つたが、いろ〳〵説明されて見ても、晶、娘の気持ちはよく分らないのだつた。それよりも、お妙がここへ来たのが、主人の大場に強ひたいためではないらしいと、いふ事がはつきりして先づ安心したから。

「ほんとに靡子は、何処に行きましたのやら」

でございますと」

大場夫人は考へ込んでしまつた。が、かんじんの靡子の生死のほども分らないのに、緑波など持ち込んで来る相手には、靡子の行方については依然しつかりした心構りがあるのだらうと思ふと、今はお妙と争うて割悪してるだけでも、何となく悔しいのだつた。

あれから、主人の大場は何度も何度も靡子のアパートに行つて見たのだが、依然として行方が分らないのだつた。大場にアパートを嗅ぎつけられたのを知つて、アパートに帰つて来ないのだと察すればまだしも安心だつたが、学校などアパートに置いたまま何日も帰らないのだから、ひよつとしたら自殺でもしたのではないかと、又しても考へて、夜もろくろく眠られないこの頃の大場夫婦だつた

とゐた。

「ほんとにれんでも頼んだ訳りませんね。楠本さんが、きつと捜して呉れますから、楠本さんと申せば……」

ここで、晶の頼二の主題に入らねばならぬのだが、これは一歩切り出すのが、むつかしいのだつた。

「さうも申し上げましたやうにお願ひまのほんとのお気持ちは、楠本さんがお親ちやないのですから、いかがでございませう、軽波をおやめになつてしまつては……」

「それは、わたし共がもつと望んでることなんですが、楠本さんが靡子がおいやなんちやないでせうか」

まだ相手の真意に不安、あるそぶと、夫人は再び軽波の名を挙げしながら答へた。

「楠本さんは、大変お気に入つてございますよ。わたしから、よくお話してみましたの。それで、あらためてお願ひまを頂きたいと、楠本さんの方からお願ひに伺はせますわ。差し出がましいのはよく承知して居りますが、いろんな事情をお察しして下さつて、お許しねがひたいのです。

晶は靡子は生きてゐる！お妙の報告で、靡子夫人は先ず一歩からういふ希望にパツと照らされたやうに明るくなつてゐるのだ。永い梅雨季から、久し振りに青空を眺めたやうな、心をどりさへ覚えてゐるのだつた。

それだけでも有難い。さう思ひいつか又相手に対する軽蔑心をゆるめた時、お妙が突然、晶にハンカチを押しあてた。

「あたしなど、こちらにとられた義理はないのでございますけど——最後まで、ぜひ靡さまにお目に掛つて申し上げて呉れと申すものでございますから——」

靡子夫人は、今は自分がお妙を責めなければならぬのを感じた。靡子が死んでゐるかも知れないといふ恐ひより、晶枝が間もなく死ぬといふ悲しみの方が一層決定的であることを思ひ出した。

ラヂオ 午前の部

【六・三〇】朝の放送ラヂオ體操

午後の部

【一・五九】正午の時報、気象通報・台北測候所發表

【二・〇〇】放送局編輯ニュース

【二・一〇】番組説明(レコード)ピアノ獨奏「ベガニーニの主題による練習曲 イ短調(リスト作曲)小関登美子 △ヴァイオリン獨奏 一、協奏曲 イ長調(モーツアルト作曲 第一楽章 アレグロ・アベルト 二、メヌエット・長調(ベートーヴエン作曲)鳩山雅二、サンタ・ルチア(ナポリ民謡)コンラット・リプレヒト

【二・四〇】全国気象通報(東京)

夜間の部

【五・〇〇】子供の時間(東京)合唱と独唱春の歌(大中寅二編曲)外二:JOAK児童放送、伊奏—東京サロン・オーケストラ、指揮—吉原政

【五・二〇】講演(東京)コドモの新聞

【五・三五】講演(東京)「前アメリカ国務長官スチムソンと語る」一原有常

【五・五五】カレント・トピックス

【六・〇〇】子供の時間(台北×台北・台中)放送と話 二、文化功労者紹介 イ、独唱「黒燕さん」ロ、独唱「お星さまに」ハ、独唱「ボートレース」二、独唱「ヒコーキ石井君夫」ホ、独唱「兵隊さんに指切りロ、独唱「さくら」小山勝子 ヘ、独唱「百舌鳥」(文化功労者紹介山口勝子)

【六・〇〇】子供の時間(台南のみ)放送その他—台南市内幼稚園開催

【六・三〇】講演(東京)ラヴィエ(日独親善)参謀本部陸軍歯兵大佐笠原幸雄

【七・〇〇】管弦楽(東京)内閣楽団第一回演奏会

【七・三〇】講演(東京)「手術について」井川前文介作、植川勇喜

【八・〇〇】時報(東京)

【八・〇二】番組(台北)ならね

【八・五五】気象報告(台北)台北オラトリオ協会指揮羽生一、混声合唱「ハレルヤ」(メンデルスゾーン作曲)二、男声合唱「静寂」(シューベルト作曲)三、混声合唱「春の息吹」(ヴィルヘルム・ケンペン作曲)四、男声合唱「十字架を仰ぎて」(メグラー作曲)五、混声合唱「ホーソン」(ヤギルバート作曲)六、混声合唱「ホーソン」(ヤギルバート作曲)七、歌唱共に主を讃へよ(メンデルスゾーン作曲)

【九・二〇】気象通報・台北観測所發表/放送局編輯ニュース/新聞社提供ニュース(各局)/公示事項(各局)/明日の放送番組概表(各局)

日支親善は婦人から

西安事變ヒロイン美齢女史を

渡米の途次東京に招く

【東京七日發本社特電】西安事變のヒロイン宋美齢夫人を總つて夫人の手になる日支親善が行はれようとしてゐる、宋夫人がアメリカのウエブデーカレッヂを卒業してから今年は丁度二十年に當り暫く夫人の歿身行爲に感謝してゐた同大學では該彫方に感謝してゐたがドクター・オブ・フイロソフイーの名譽學位を贈ることになり來る六月に傳達式を擧げることに決定した、その通知を受けた夫人は目下「田舍紳士」を夫君蔣大人と相談して」と言つてゐるので實現の場合婦人會では會長吉岡彌生、山田わか女史等が中心となり宋夫人を迎へて先づ婦人同志の温かい交歡から日支國交の明朗化を圖りたいと言ふに決し去る三日北平にある會員須水氏夫人イク子さんに「愛のメツセージ」を託し宋夫人へ手渡すことになつた、メツセージは自ら筆地に赴いて夫君を說得せしめた夫人の行爲を感謝し本日本婦人は彼女のお膳立ることを切望してゐるからアメリカへの途次是非日本へ立寄つて戴きたいと言ふがらしい細かい心遣ひを綴と書き記したもので同婦人會では近く宋夫人から應ずる返事を待ちわびてゐる

（寫眞は宋美齢夫人）

五億圓の金鑛を掘む

鹿兒島縣久米島の探檢奏效

【臺灣電話】ゴールドラッシュの他に喩つた夢のやうな景氣のよい金掘りを續んだ人々が蜂擁にかけて目下巷の噂を湧めてゐる、それは先般臺灣總督府殖産局長下の米島に金鑛探檢に出張中の鹿兒島縣下の米島に於て有望な金鑛を發見したもので、同鑛山は昨二十五日午前十一時鳴り渡る萬歳の聲裡に東京の四谷、台北の萬ち大きな金主の肝煎を得て久米島の一部開發に着手したが六日に至りミヅドルセクス地方からは今度は日本觀音の名氣を持つてゐるが今なほ日本觀音の名氣を持つてゐるが今なほ日本觀音の名氣を持つてゐるが今なほ